

新年を語る

会派等の抱負

◎幹事長
◎副幹事長

豊島の未来へ
一致団結 一丸となって

自民党豊島区議団

平成二十一年 謹んで新年のご挨拶申し上げます。昨年が北京オリンピックが開催され、日本国内はもとより世界中が沸きたちました。しかしその後は、原油高とサブプライム問題、そしてリーマン・ブラザーズの破綻を契機に、米国発の不況の嵐が世界中を吹き荒れ、世界同時株安等の金融恐慌が起き、また食の安全を脅かす多くの問題も発生、信じられないような事件・事故等も多発し、激動の年となったのであります。そのような中、自由民主党は五人の候補者による総裁選挙があり、我が第十選挙区支部の小池ゆりこ衆議院議員が、女性初の総理大臣を目指し立候補するなど、民主主義に則った総裁選挙が行われました。残念ながら小池候補は3位でした。議員票では2位という結果を出しました。

その後発足した麻生内閣においては、様々な課題を抱えておられますが、国民の皆様を第一に考え、あらゆる方法を駆使し、安心できる社会の実現に向け、奮闘しております。何とぞ皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

安心して住み続けたいと思える豊島区へ

民主・区民

年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。民主党、社民党、生活者ネットで構成する私たち民主・区民豊島区議団は、昨年1年間、豊島区議会の第2会派としての責任の重さを自覚しつつ、区民の皆さまの声を区政に最大限に反映すべく活動してまいりました。

昨年度の豊島区の財政状況は、好景気の特長等により、特別区民税や特別区交付金が大きく増加したこと、実質収支が最近10年間で最も多い31億4千万円となり、実質単年度収支も4年連続で黒字となりました。

しかしながら、昨年新しく成立した「財政健全化法」により公表されることになった「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「実質公債費比率」「将来負担比率」はいずれも「健全段階」であるものの、「実質公債費比率」「将来負担比率」が23区の中で際立って高いことは注視すべきです。次第に景気の後退を感じ



◎本橋 弘隆



◎竹下ひろみ



磯 一昭



河原 弘明



村上 宇一



堀 宏道



里中 郁男



吉村 辰明



小峰 博



遠竹よしこ



◎小林 俊史



◎水谷 泉



原田まさひろ



和賀井哲代



永野 裕子



中田 兵衛



藤本きんじ



山口 菊子



大谷 洋子

人と地域が輝く豊島をめざして

公明党

新年あけましておめでとうございます。本年が区民の皆様にとりましてより良い年となります。昨年11月、豊島区の人口は26万9千人となり、ついに全国一の高密度都市となりました。

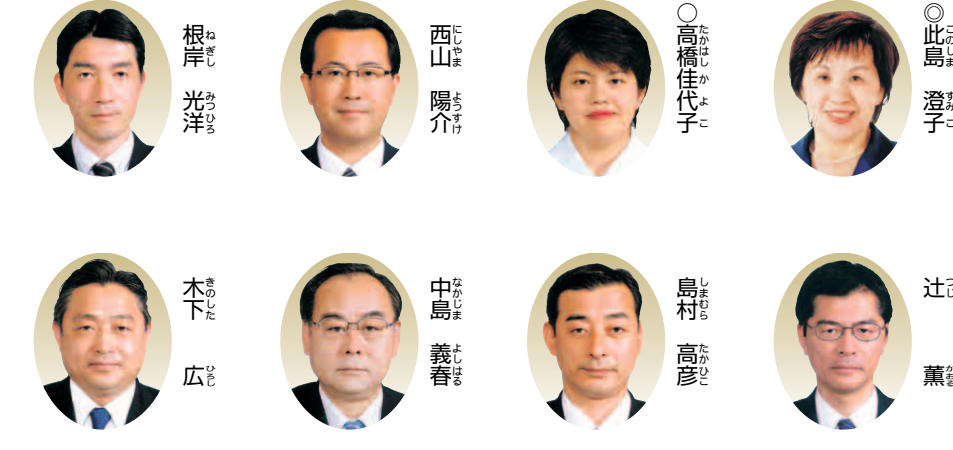
その中、課税人口の増加や税収の伸びにも支えられ、これまでの厳しい財政状況の山を克服し、ようやく安定的な財政運営が可能であるという明るい兆しの中で、次世代に豊かな豊島区を引き継いでいくため、未来戦略推進プランを掲げて取り組んでまいりました。

私たち公明党も昨年、社会構造の変化に迅速に対応しようとして妊婦健診助成の14回までの大幅な拡大、保育ママ事業、高齢者元気あとおし事業、駅や街のバリアフリー化の実現に尽力してまいりました。

新年あけましておめでとう。公明党は、アメリカ発の金融危機の影響を受け、日本の景気はこれから次第に厳しい局面を迎え、区民の生活を少しずつ圧迫していくことが予想されます。

その中で、公明党は今こそ中小企業と家計を元気にしようとして、まず中小企業の「緊急保障制度」をスタートさせ、対象業種も区から68業種へと大きく拡充されました。また都議会公明党も融資枠の大幅な拡大強化へと取り組み、区議会公明党は、利子補給補助率の大幅引上げや信用保証料の補助率拡大を実現させることができました。

本年はさらに、家庭に元気が温かみを与え、地域振興、経済効果も期待されている「定額給付金」の実現をはじめ、環境・教育・健康福祉と様々な課題に全力で取り組んでまいります。本年も何とぞよろしくお願ひ申し上げます。



日本共産党の躍進で希望の持てる良い年に

日本共産党

新年明けましておめでとうございます。昨年は、後期高齢者医療制度に対する国民の怒りが沸騰し、参議院では廃止法案が可決されました。政治の力関係を変えれば衆議院でも通すことができます。今年こそ廃止のために全力を尽くします。

自公政権の下、「構造改革」を推しすすめた結果、不安定雇用、金融危機、医療崩壊、食の安全性にたいする国民の不安も大きくなっています。

麻生政権の経済対策は、大企業、大銀行支援策が中心で、3年後には消費税の増税です。これでは景気も日本経済も良くなりません。

今こそ雇用の安定、社会保障の拡充など家計を応援する政治に力を入れます。豊島区は区民性による「行革」で4年連続の黒字マシソンとの合築による新庁舎建設、LRT(路面電車)など大型開発を優先し、削った福祉や教育などを元に戻そうとしません。日本共産党区議団は区民のみならず力を合わせて妊婦健診の助成を14回に拡充してまいりました。

本年も区民のくらし、福祉第一に、みなさんと力を合わせ、希望の持てる良い年にするために全力で頑張ります。



区民の皆様へ本年もよろしくお願ひします

豊島無所属

合理的な政策提案を第一に活動してまいります。私の活動や主張等は、発行の報告の他、ホームページ www.hino-katsuki.com、ブログ <http://dhatena.ne.jp/hino-katsuki> をご覧ください。



「不透明を是正せよ・政務調査費領収書」

刷新の会

H15~17年の政調費2億円の領収書が事実上の非公開。領収書は公金の使途適正如何を判断する証拠書類。非公開が続けば公金の使途は不透明のまま。区議会よ、良いのかこれ。

明けましておめでとうございます。より良い区政を行う為に、政治に対する信頼が不可欠です。情報公開を促進し、あらゆることを変革する為に、今年も一生懸命発言して参る所存です。

